

議事概要記録

開催日時	令和3年10月16日(土) 15:00~17:00	開催場所	Zoom Web形式
会議種別	令和3年度 第3回理事会	議長	久保 光史
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	参加：田中 規仁、神藤 洋次、田原 靖子、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史、 山本 須美子、中尾 光孝、谷本 智、葛原 和紀、秋田 豊和、森下 陽子、 大前 嘉良、森井 眞治、藺田 豊、脇村 小津江 大石 博晃、竹中 正人 計 18名		
欠席者 <敬称略>		オフライン	
次 第			
議事概要	報告事項 1. 会長報告 2. 令和3年度第3回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ 会誌編集 ⑥ ホームページ ⑦ 会報 ⑧ 月例行事予定表 ⑨ Web 研修準備委員会 7. 連盟 8. 第41回和歌山県医学検査学会 9. その他 審議事項		

決議事項
及び
継続事項

開催にあたり田中会長より挨拶。

コロナ流行も若干落ち着いてはきているが、今回も対面ではなく web 会議とさせて頂きました。残念ながら各事業においてもコロナの影響にて今年度も中止判断となったものが相次いでおりますが、年度後半には和歌山学会の開催も控えておりますので役員の皆様引き続きご協力の程よろしくお願い致します。

報告事項

1. 会長報告

日臨技・近畿支部・和臨技関連について以下のとおり報告あり。

日臨技関係

7月16日 近畿支部幹事会 Web

7月17日 日臨技理事会 Web

8月 3日 第1 回日臨技災害対策WG Web

8月17日 日臨技理事会（臨時） Web

9月17日 近畿支部幹事会 Web

9月18日 日臨技理事会 Web

10月 1日 タスク・シフト/シェアの推進

(臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令) 厚労医政局長

和臨技関係

7月30日 わかやま健康と食のフェスタ 中止

8月30日 検査と健康展 中止

9月27日 和大祭中止 (VCT 事業中止)

渉外関係

8月6日 第26回和歌山県病院協会学術大会 プログラム委員会 華月殿

その他（詳細は別紙資料参照）

●臨地実習指導者講習会開催概要について

- ・世話人講習会については10月24日 和臨技より葛原理事参加の予定
- ・当初世話人講習会後は各府県での開催予定であったが、**各支部開催へ変更**各支部にて2023年度末までに2~3回開催の予定

●臨床検査技師へのタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会

- ・実務者講習会 緊急事態宣言の為、9月5日から10月30日へ延期
また実務者増員要請があり当初講習会参加予定であった、田原副会長、栗林学術部長、森下理事、大前理事の4名に加え田中会長、丸澤経理部長、山本理事、久保事務局長の4名も参加予定。
- ・参加費 会員 15,000円 非会員 40,000円
参加費の設定は、本研修用に準備された各種人体模型・シミュレータ費用等を賄う上での金額設定となったとの説明あり。

●日臨技「災害対策支援規程」等および当該規程に基づく都道府県技師会との協定締結のための説明会の開催について

- ・説明会へは大前災害対策委員長参加の予定

●日臨技新施設認証制度の概要について

- ・従来の2部門（化学・血液）から10部門の認証に拡大
- ・是正改善の積極的な取り組みを評価する 等

2. 令和3年度第3回常務理事会報告

●臨床検査技師へのタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会

- ・支部開催の指導者研修参加予定者（県内各地での開催も見据え理事より人選）

①森下理事 ②大前理事 ③栗林学術部長 ④田原副会長

実務委員については随時推薦検討を進める。

- ・開催日、会場について

直腸肛門機能検査・消化管内視鏡検査を担当頂く先生の予定確認の結果

10月31日（日）アバローム紀ノ国で決定 鳳凰の間2/3と羽衣

参加者60名を3チーム分けて講習の為、3会場を準備。

（アバローム 担当谷本様と具体的なレイアウトの打ち合わせ必要）

- ・看護師の講師について

和歌山県看護協会会長へ講師要請の相談も兼ねて田中会長が挨拶訪問の予定

その上で、講師を選出。その他、各施設でも適任者があれば推薦頂くことで一致。

- ・今後の予定について

10月31日開催予定の為、事前の700分Web研修を考えると、研修会募集は9月には完了していないと履修が困難であると予想される。

代表者講習会の日程も含め、事業の進捗について会長より近畿支部・日臨技等へ確認頂く。

●2023年（令和5年）近畿支部医学検査学会

学会長：田中会長 実行委員長：神藤副会長 学会企画運営：栗林学術部長

事務局・広報・会計等 その他の実行委員案を作成（別紙参照）

当初事務局担当で推薦していた和医大 松下さんは生理検査班の班長のため、変更の予定。顧問については、竹中監事に了承済み。

実行委員案については常務理事会で異論なし。理事会でも確認を行う。

第1回実行委員会キックオフミーティングは8月で開催準備を進める。

●臨地実習講習会について

現時点での進捗なし

●次年度勉強会 会費徴収について

会費徴収案方法の案として挙がっていたパスマーケットについて、テスト運用を行い確認することで一致

テスト方法：和学会の口座を利用して、登録・支払い・振り込み・手数料など一連の工程について常務理事内で確認

●個人情報保護指針について

- ・和臨技個人情報保護指針
- ・和臨技個人情報管理規定

以上の素案について神藤副会長より提示。理事会承認を得る。

●新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

以上の素案について栗林学術部長より提示。

ガイドラインの名称について、今後他の未知のウイルスなどによるパンデミックも起こりえることを考えると名称を「新型コロナウイルス等の感染拡大防止ガイドライン」にしてはとの意見あり。

また改定日ではなく作成日の記載とする。

●その他

- ・第4回常務理事会より抜粋

タスク・シフト講習会の開催準備に向けて担当の理事及び常務理事にて、別途臨時のWeb会議を開催の予定。

3. 事務局報告

7月13日 第2回日本睡眠検査学会学術集会の後援名義について

日本睡眠検査学会

7月13日 令和3年度和歌山県臨床検査技師会臨床検査精度管理調査の後援依頼

和歌山県

和歌山県病院協会

和歌山県医師会

7月17日 令和3年度保健衛生（医事）功労者に対する知事感謝状の推薦について

和歌山県

8月2日 都道府県災害連絡責任者選出について

和臨技より大前理事/災害対策委員長を推薦

日臨技

8月13日 「認知症ワーキンググループ」より認知症予防啓発活動の提案について

9月中、和臨技ホームページ 啓発活動としてオレンジ色の背景に変更掲載

日臨技

8月16日 2021年度「日本肝臓学会市民公開講座」開催に伴う後援名義について

日本肝臓学会 市民公開講座

8月26日	日臨技臨地実習指導者講習会（中央講習会）グループワーク 参加者：葛原和紀 理事	日臨技
9月2日	全国「検査と健康展」開催中止報告	和臨技
9月9日	令和3年度院内感染対策講習会受講者の推薦について 推薦者：労災病院 奥野千晶 技師	和歌山県
9月18日	令和3年度保健衛生（医事）功労者に対する知事感謝状決定通知 被贈呈者：栗林伴有 学術部長	和歌山県
10月4日	和臨技臨床検査精度管理調査における参考値提供依頼 趣意書の発行について デンカ・東ソー・富士レビオ	
10月4日	令和3年度医療従事功労者賞候補者に対する推薦について	和歌山県

以上について報告。

4. 学術部報告

●勉強会開催状況報告

日臨技生涯教育推進研修会登録状況（別紙参照）

勉強会参加者数が増加している

2019年 平均20名 → 2021年 平均34名と14名の増加

Web開催による効果か。

5. 経理部報告

特記事項なし

6. 各種委員会報告

① 公益事業活動

事業中止等に伴い特記事項なし

② 定款・渉外

・和臨技個人情報保護指針

・和臨技個人情報管理規定

以上についてホームページへ掲載中。

掲載中の指針・規定文書内に色の付いた部分あり、改めてホームページ担当山本理事に内容確認頂く。

③ 災害対策委員会

・和歌山市水管橋崩落に伴う断水についての会員調査

会長より調査依頼あり、和歌山市北部を中心に21施設にメールもしくは電話にて現状調査 返答13施設（62%）→ 今後断水に対する対策も検討必要か

・災害フォーラム

現在、委員会にてメール会議等にて開催準備中。

12月11日（土）にてWeb開催の予定

・災害対策マニュアル

マニュアルはほぼ完成、次回の理事会へ提出の予定。

・災害時の連絡方法について

Google スプレッドシートは完成

最終の運用方法を調整の上、来年度の訓練での使用を目指す

田中会長より補足

- ・水管橋崩落に伴う断水発生時に竹内化学より 20L 純水配布の申し出あり
- ・労災病院の断水状況 → 貯水槽へ他府県・自衛隊も含めた給水車にて対応頂き業務は特に問題なし。職場よりも家庭での生活用水が使用できない事が大きな負担であった。

④ 精度管理委員会

中尾理事より、新年度精度管理調査に関する進捗報告（詳細は別紙参照）

●試料準備、梱包発送について

- ・SARS-CoV2-2019 の感染拡大に伴い 8/20（金）18:00 から医大輸血部において予定していた、輸血試料作成作業を急遽労災病院検査部へ変更
- ・8/22 の梱包発送作業については、試料は事前に医大に集約しており、事務局平康技師に指揮系統を完全委任し、医大所属技師のみで実施対応。
- ・試料梱包に対するご意見頂いた → 次年度の梱包材追加対応とする

●JAMTQC システム関連

- ・到着確認に関連して試料番号の表記についてシステム側と検体とでズレがあり
- ・フォト画像の掲載場所の違いによる混乱あり

●病理部門、輸血部門の選択肢および設問の記載ミスについて

- ・病理部門は回答選択肢の表記間違い
- ・輸血部門は不規則抗体検査設問の記載ミス

→共に担当者に訂正文書を作成頂き、中尾理事より ML を通じて訂正広報

今後の対策として、精度管理委員会所属の副学術部長 3 名に査読頂き、査読終了した手引書を掲載する。また、web ページにおいても同様に副学術部長 3 名に確認を頂き、確認終了したものを公開する。

分担・吉井副学術部長 「病理、一般、血液」

・竹中副学術部長 「生理、生化学・免疫」

・杉野副学術部長 「細菌、輸血」

●調査願い発行連絡準備 (10/4 現在)

○連絡受理

- ・生理：9 施設【設問 6】
- ・微生物：3 施設【設問 2：1 施設】 【設問 4：2 施設】
- ・血液：8 施設【血小板：1 施設】 【フォト：設問 1-1 施設、設問 2-1 施設、設問 3-1 施設、設問 7-2 施設、設問 8-3 施設、設問 10-4 施設】
- ・免疫：なし

森下理事より日臨技 QC と同じく和臨技 QC でも施設別報告書が発行されるかについて質問あり

→ 施設別報告書については現段階では検討中である。

問題点として、施設数 (N 数) の問題があり、各分野最終の評価をどのようにするかについても調整中である。

⑤ 会誌編集

森井理事より報告

- ・投稿の申し込みは現在 1 題 締め切りは 11 月 30 日 (火)
各施設へ会誌投稿協力を要請
- ・10 月 15 日 (金) 賛助会員への広告掲載の案内発送

⑥ ホームページ

特記事項なし

⑦ 会報

特記事項なし

⑧ 月例行事予定表

特記事項なし

⑨ Web 研修準備委員会

特記事項なし

7. 連盟 (詳細は別紙参照)

脇村連盟支部長より、連盟会員の登録状況について報告あり。

5 月以降加入がない

- ・積極的な声かけができていない 広がっていない
- ・施設長、連絡責任者の交代などで引き継ぎもなく声かけできていない現実
- ・自動引き落としへの変更が進んでいない

次年度の宮島議員 (日臨技会長) 参議院選挙に向けた組織力強化が求められる

連盟支部の監事が現在不在の状態

連盟加入へのアプローチを積極的に実施していきたい

→ 各施設での連盟窓口担当を決めることはできないか?

8. 第 41 回和歌山県医学検査学会

秋田理事（学会長）より報告（別紙 学会企画予算書・第 2 回実行委員会報告参照）

●7 月 3 日（土）実行委員会報告

・会場と会期、形式について

会場：橋本市産業文化会館「アザレア」

会期：令和 4 年 2 月 27 日（日）（前日 2 月 26 日和臨技事業用にも予約済み）

形式：ハイブリッド開催の予定

会場での飲食禁止の為、ランチョンセミナー開催は困難。

現会員数 400 名の為、今回は抄録集を 500 冊に増刷の予定

・実行委員会について

実行委員（別紙資料参照）

10 月 1 日（金）18:30～20:30 第 2 回実行委員会開催

橋本市産業文化会館 「アザレア」 3 階和室

・テーマについて

with and after「COVID-19」～われわれ臨床検査技師のミッション～

・特別企画について

① ICD、ICN による講演

（テーマ）コロナ禍を乗り越えるための臨床検査技師へのリクエスト（感染管理室、臨床現場の立場から）

②ICD、ICN、臨床検査技師との討論会

（形式）ICD、ICN 臨床検査技師 2 名（検体検査、生理機能検査）における討論会（質疑応答座談会形式になる可能性あり）

・コロナウイルス感染拡大状況をふまえて、学会を Web 配信のみの開催に変更する判断基準と決定時期について

12 月 24 日以降、和歌山県、大阪府、奈良県に緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置が発出されたとき

Web 配信のみとなった時の演者の発表形式については検討中

（他府県学会の情報調査）

脇村支部長より

・学会の合間に、宮島会長のオンライン出演できないか？

オンラインが無理であれば録画放映も検討頂きたい

神藤副会長より

・政治的な内容を抄録集に掲載することは可能なのでしょうか？

→田中会長より 他府県技師会等でも実際行っており、問題はありません。掲載の際には「情勢報告会」という名称で行っている。

田中会長より

・ハイブリッド開催から Web 開催への切り替えについて、ハイブリッド開催で押し切るの難しいでしょうか？

→ 秋田学会長 学会としては押し切りたい部分はあるが、やはり周囲の状況・周囲の目も考慮せざるを得ない。また発表者はすべてメイン会場での発表となるため、施設によっては参加できない場合もあり、難しいと考えている。

審議事項

●和臨技創立 70 周年・法人化 35 周年記念誌発行の予算申請について

記念誌発行に係る予算について、記念式典開催できない状況であるため、今回は和臨技一般会計からの支出で対応頂きたい

→ 理事会全員一致で了承頂く

●令和 3 年度和臨技精度管理報告会の Web 開催について

本年度和歌山学会は橋本市民病院 秋田学会長の元、橋本市および web のハイブリット形式（コロナ禍の情勢が悪化すれば web のみ）で開催を予定されているが、例年開催の懇親会を含む前日の学会関連事業は中止である。

→委員会として協議した結果、各班班長を中心に例年通り全班合同での精度管理報告会を開催する事が望ましいという意見が多く、開催日程は和歌山学会前日。開催形式は web のみで実施する方向で一致した。

和歌山学会においては、一時課金において zoom のアクセスライセンス上限を引き上げる事を検討されており、秋田学会長に「学会前日このライセンスを貸与いただき、精度管理報告会を開催する事の可否」についてご相談させて頂き、貸与許可が得られた為、学会前日(R4.2.26(土))にて開催したいと考える。

開催スケジュール (案)

開催日時：R4.2.26 (土) 13:00～16:00

8 領域、各 20 分（各領域内容発表後質疑応答を実施。質疑応答も含め 20 分とする）詳細については別紙参照

→ 理事会全員一致で了承頂く

その他

●各事業の次年度予算申請書の作成について

次年度予算申請に関して、改めて事務局より案内の予定

前回理事会提案した「和臨技日当の支払い条件の見直し」については継続審議中であり、こちらが変更になればそれを踏まえた予算申請書の作成をお願いしたい。

●施設長責任者会議の開催について

タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会の開催準備も含め、会員施設長の皆様への説明も含めて例年よりも早い段階での施設長責任者会議の開催を検討中。詳細については改めて報告。

	<p>●和歌山県病院協会シンポジウムについて</p> <p>秋田理事より質問</p> <p>今回のシンポジウム テーマ 「コロナ禍での感染症対策」</p> <p>であるが、和歌山県臨床検査技師会がエントリーしていないのは何故でしょうか？</p> <p>→ 田中会長回答</p> <p>和歌山県病院協会のシンポジウムは例年各医療技術団体が順番に参加している。</p> <p>和歌山県臨床検査技師会は去年、一昨年と連続2回であったことから見合わせとなった。</p>				
記録作成	令和3年11月3日	氏名	久保 光史	提出	令和3年11月3日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可